

科目名称	母性看護学概論	学年学期	単位数	時間数
		1 学年前期	1	15
担当教員	矢野 良子	授業に関わる 実務経験	☒ 有（助産師） ☐ 無	

【1】授業概要

母性看護の対象の特徴を理解し、母性の一生を通じた健康の保持・増進を目指した看護について学ぶ。母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状を知り、社会背景を視野において、母性看護の機能と役割を考えることができる。

【2】学習目標

1. 母性看護の概念、リプロダクティブヘルス／ライツにおける母性看護の意義と役割について理解し、説明できる。
2. 人間の性と生殖について理解し、説明できる。
3. 母性看護における倫理について理解し、説明できる。
4. 母性看護の動向と法律・施策について説明できる。
5. 母性のライフサイクルと各期の対象の特性と健康問題・看護について説明できる。
6. 母子保健・医療・福祉チームにおける看護の役割について説明できる。

【3】第2看護学科ディプロマポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間を統合された存在として多角的に捉えることができる。
- 2. 人間の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重した判断および行動をすることができる。
- 3. 人々の多様な価値観を認識して、専門職業人としての共感的態度および倫理に基づいた看護実践をすることができる。
- 4. 看護の対象となる人々の健康状態を判断し、科学的根拠に基づいた看護を実践することができる。
- 5. 保健・医療・福祉チームの一員として多職種の連携・協働を図り調整的役割を果たすことができる。
- 6. 松山市および愛媛県周辺の地域医療への理解を深め、地域の人々の生活を尊重・支援することができる。
- 7. 自己の資質向上のため、看護に対する探究心・向上心をもち、主体的に学び続けることができる。

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	母性看護の対象と母性看護の特徴 人間の性の理解 女性の社会的側面 女性の身体的機能	講義
2	母性についての理解 母性としての心理的発達 家族の発達 母性を取り巻く環境 母性看護における倫理	講義
3	リプロダクティブヘルスに関する世界・日本の動向	講義
4	リプロダクティブヘルスに関する施策	講義
5	リプロダクティブヘルスに関する法律	講義
6	リプロダクティブヘルスケアについて	講義
7	女性のライフサイクル各期における健康問題と看護	講義
8	筆記試験	

【5】授業評価

科目評価は、筆記試験で評価する。

【6】教科書

森 恵美：系統看護学講座 専門分野 母性看護学(1) 母性看護学概論（第14版）医学書院 2025（電子版）

【7】参考書

【8】受講生へのメッセージ